

3 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると次のとおりである。

食 料

平成30年平均は103.8となり、29年平均に比べ(+)2.1%の上昇となった。

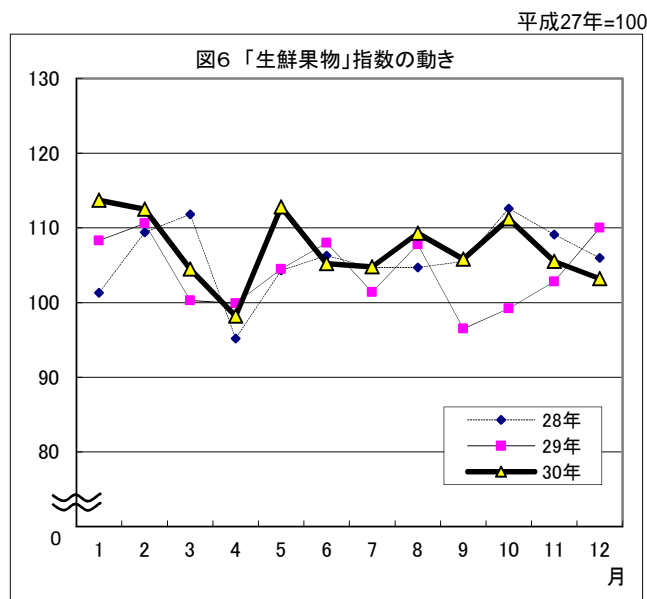
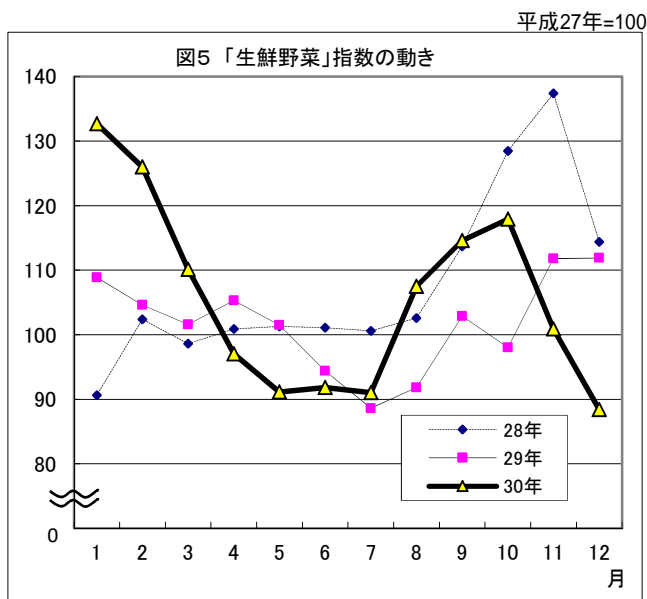
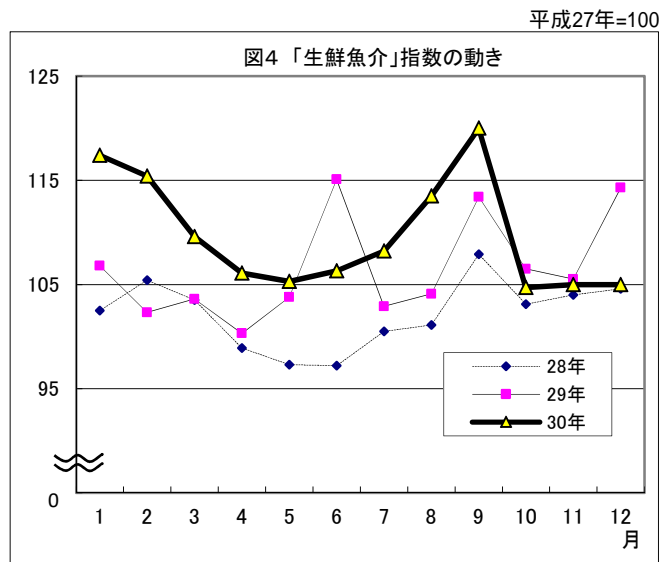
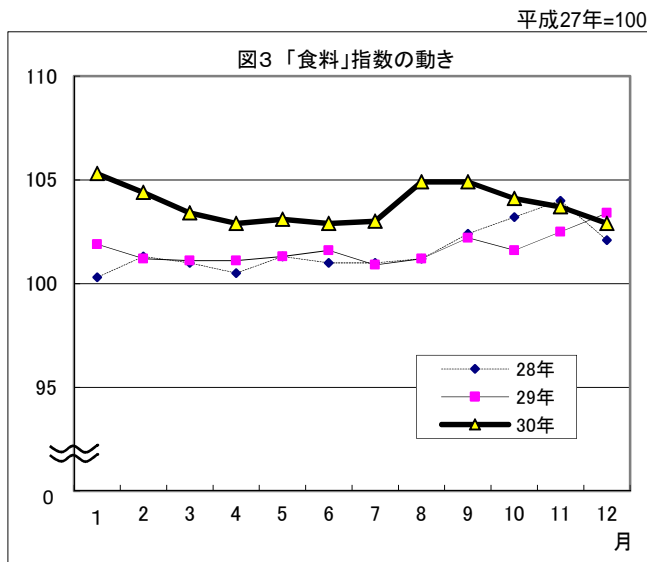
内訳をみると、酒類は変わらず。

野菜・海藻(+)5.7%、乳卵類(+)5.7%、果物(+)4.0%、穀類(+)4.0%、菓子類(+)3.9%
魚介類(+)2.5%、調理食品(+)1.2%、飲料(+)1.1%、油脂・調味料(+)1.0%、外食(+)0.5%
とそれぞれ上昇した。

一方、肉類は(-)1.4%と下落した。

生鮮食品についてみると、生鮮野菜(+)3.9%、生鮮果物(+)3.0%、生鮮魚介(+)3.0%とな
り、生鮮食品全体では(+)3.4%の上昇となった。

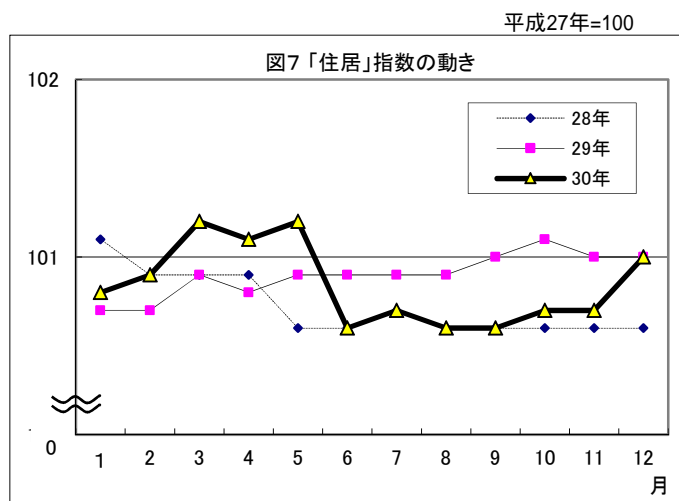
なお、月々の動きはグラフのとおり。(以下同じ)



住居

平成30年平均は100.8となり、29年平均に比べ(-)0.1%の下落となった。

内訳をみると、設備修繕・維持は(+)2.1%の上昇、家賃は(-)0.5%の下落となった。

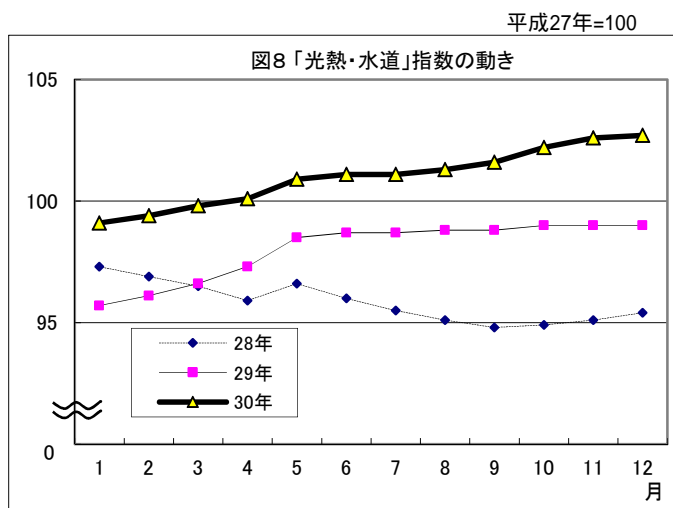


光熱・水道

平成30年平均は101.0となり、29年平均に比べ(+)3.0%の上昇となった。

内訳をみると、上下水道料は変わらず。

他の光熱は(+)16.0%、電気代は(+)4.5%、ガス代は(+)1.3%の上昇となった。



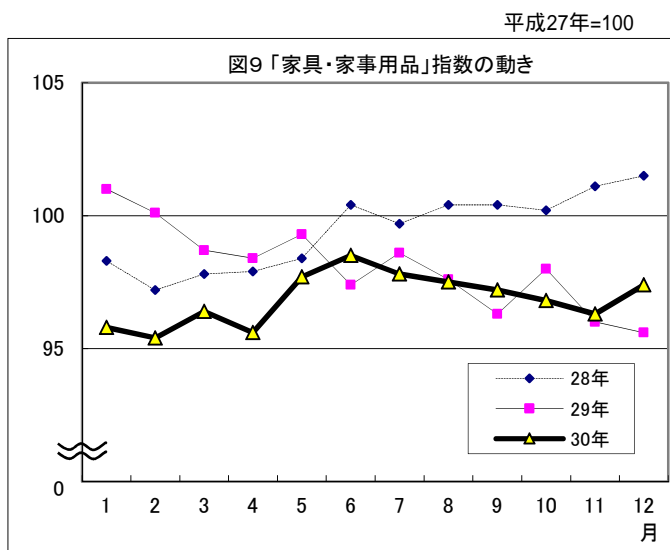
家具・家事用品

平成30年平均は96.9となり、29年平均に比べ(-)1.2%の下落となった。

内訳をみると、家事サービスは変わらず。

室内装備品(+)6.7%、家事雑貨(+)0.5%、家事用消耗品(+)0.4%の上昇となった。

一方、家庭用耐久財(-)5.4%、寝具類(-)1.8%の下落となった。



平成27年=100

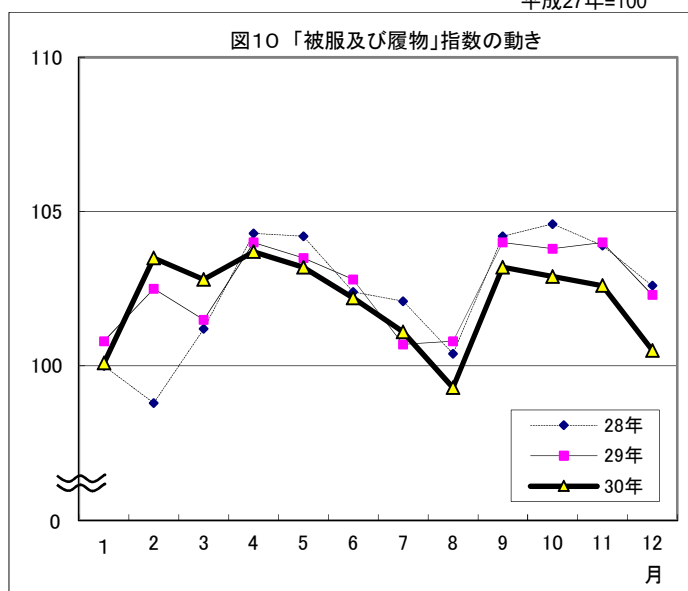
被服及び履物

平成30年平均は102.1となり、29年平均に比べ(-)0.5%の下落となった。

内訳をみると、和服と被服関連サービスは変わらず。

洋服は(+)1.0%の上昇となった。

一方、他の被服は(-)2.9%、シャツ・セーター類は(-)2.4%、下着類は(-)1.4%、履物類は(-)0.2%の下落となった。

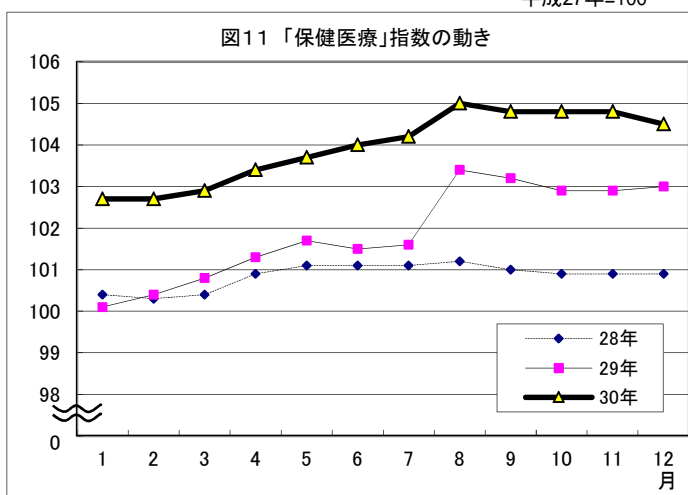


平成27年=100

保健医療

平成30年平均は103.9となり、29年平均に比べ(+)2.0%の上昇となった。

内訳をみると、保健医療サービスは(+)2.8%、保健医療用品・器具は(+)2.2%、医薬品・健康保持用摂取品は、(+)0.3%の上昇となった。



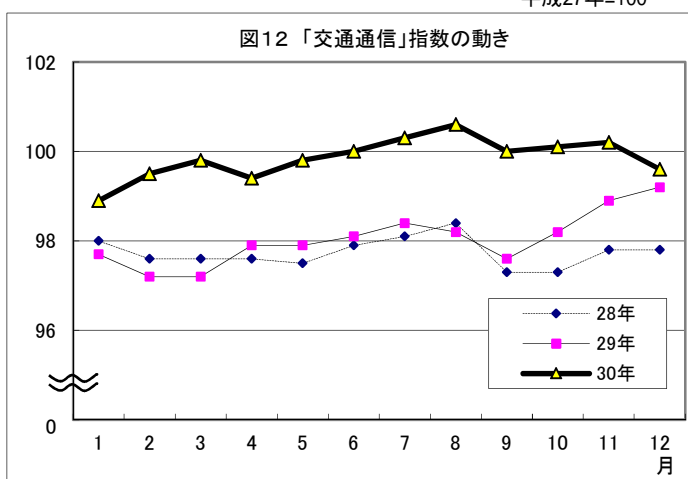
平成27年=100

交通・通信

平成30年平均は99.9となり、29年平均に比べ(+)1.8%の上昇となった。

内訳をみると、自動車等関係費は(+)4.2%、交通は(+)0.2%の上昇となった。

一方、通信は、(-)1.9%の下落となった。



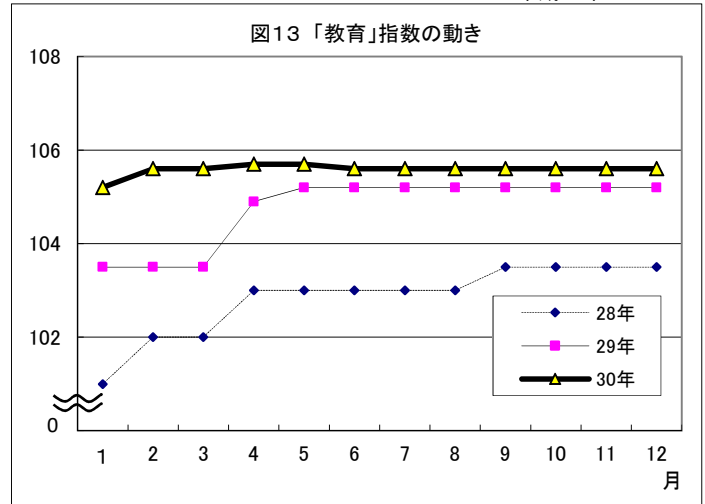
教 育

平成30年平均は105.6となり、29年平均に比べ(+) 0.8% の上昇となった。

内訳をみると、補習教育は(+) 2.7% 、教科書・学習参考教材は(+) 0.1% の上昇となった。

一方、授業料等は(-) 0.5% の下落となった。

平成27年=100



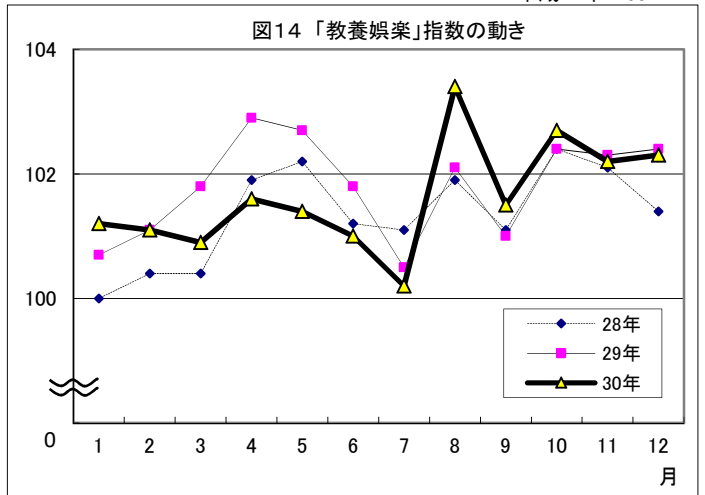
教 養 娯 楽

平成30年平均は101.6となり、29年平均に比べ(-) 0.2% の下落となった。

内訳をみると、教養娯楽サービスは(+) 0.9% 、書籍・他の印刷物は(+) 0.5% の上昇となった。

一方、教養娯楽用品は(-) 3.3% 、教養娯楽用耐久財は(-) 0.1% の下落となった。

平成27年=100



諸 雑 費

平成30年平均は101.3となり、29年平均に比べ(+) 0.5% の上昇となった。

内訳をみると、理美容サービスは変わらず。

たばこは(+) 3.0% 、身の回り用品は(+) 1.9% 、他の諸雑費は(+) 0.4% の上昇となった。

一方、理美容用品は(-) 0.3% の下落となった。

平成27年=100

